



## 2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月4日

上場会社名 株式会社中央経済社ホールディングス  
 コード番号 9476 URL <https://www.chuokeizai.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 憲央

問合せ先責任者 (役職名) 社長室 (氏名) 浜田 匡

TEL 03-3293-3371

四半期報告書提出予定日 2020年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	2,294	7.7	96		116		96	
2020年9月期第3四半期	2,131	0.3	60		63		50	

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 118百万円 ( %) 2020年9月期第3四半期 61百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	25.96	
2020年9月期第3四半期	13.42	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	5,123	4,021	78.5
2020年9月期	5,105	3,933	77.0

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 4,021百万円 2020年9月期 3,933百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		8.00	8.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,041	1.0	61	948.6	70	1,169.5	40		10.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	4,398,464 株	2020年9月期	4,398,464 株
期末自己株式数	2021年9月期3Q	667,881 株	2020年9月期	667,881 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	3,730,583 株	2020年9月期3Q	3,730,583 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対応したワクチン接種が進んでいるものの、感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言の再々発出による経済活動の抑制などにより、先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループが属する出版業界では、前四半期に続いてコロナ禍における巣ごもり需要から文芸書、児童書、学習漫画などを中心に書籍・雑誌の売上が伸びており、当第3四半期連結累計期間における書籍・雑誌の推定販売金額は前年同期比プラス3.6%（出版科学研究所）となっております。しかし、依然として業界全体の構造的な変化は乏しく、中長期的には厳しい状況が続くと予想されています。

このような状況の中、当社グループは、前期に引き続き新しい顧客層の開拓に挑戦し、顧客ニーズを満たすコンテンツ開発、返品減少対策を主要なテーマに活動いたしました。新刊点数・増刷点数が前期を上回るとともに、返品が減少したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,294百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益96百万円（前年同四半期は営業損失60百万円）、経常利益116百万円（前年同四半期は経常損失63百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益96百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

## (出版事業)

会計分野では、研究書として『引当金・準備金制度論』『企業会計における評価差額の認識』『企業統治の会計史』を、会計実務書として『決算・監査コストの最適化マニュアル』『たかが会計』『IFRS財務諸表の読み方ガイドブック』『Q&AでわかるKAM（監査上の主要な検討事項）の実務』を刊行いたしました。

経営・経済分野では、研究書として『失敗と成功の経営改革』『ミドル&シニアのキャリア発達』『感染症と経営』『機関投資家のエンゲージメント』を、実務書として『2030年の人事管理』を、また大学テキストとして『現代の企業と社会』『文系学生のための企業研究』を刊行いたしました。

税務分野では、『中小企業の節税へのヒント』『病医院の相続・M&A・解散の税務Q&A』を刊行いたしました。

法律分野では、研究書として『遵守の強制から誇りある行動を導くエモーショナルコンプライアンス』を、実務書として『株主総会デジタル化の実務』『法務の技法（人事労務編）』『労働時間管理の法的対応と実務』を、また大学テキストとして『株式会社法読本』『国際ビジネス用語事典』を刊行いたしました。

企業実務分野では、今般の社会・経済状況に即した『管理職のための実践スキル講座』『ブロックチェーンをビジネスで活用する』『4つのステップで社長の悩み解消！資金繰りなるほどQ&A』『株式分割による成長株投資』を刊行いたしました。

資格試験分野では、『小松詩織が教える司法試験・予備試験合格のベストプラクティス』『水野健の宅建士合格ブリッジ問一答』『30日でマスターできる中小企業診断士第2次試験解き方の黄金手順』を刊行いたしました。

生活・実用分野では、受注している雑誌など定期刊行物の編集業務が順調に推移いたしました。また、カレンダーのラインナップの拡充したことなどにより業績が改善し、増収、増益となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,210百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は76百万円（前年同四半期は営業損失78百万円）となりました。

## (出版付帯事業)

出版付帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理ですが、広告媒体が多様化し紙媒体への広告が減少する中、いくつかの新規取引先を開拓いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は84百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益19百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は5,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品の増加84百万円、現金及び預金の増加11百万円、受取手形及び売掛金の減少150百万円などによる流動資産の減少56百万円があったものの、土地の増加37百万円、投資有価証券の増加30百万円などによる固定資産の増加75百万円があったことによるものです。

(負債)

負債は1,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債の増加23百万円があったものの、返品調整引当金の減少32百万円、支払手形及び買掛金の減少30百万円及び賞与引当金の減少29百万円などがあったことによるものです。

(純資産)

純資産は4,021百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加66百万円及びその他有価証券評価差額金の増加21百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの中核事業である出版事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う巣ごもり需要により、一時的な業績の回復傾向にあるものの、長期的縮小傾向には依然として歯止めがかかっておらず、引き続き厳しい経営環境が続くものと考えております。

なお、2020年11月6日に公表いたしました「2020年9月期 決算短信」に記載の業績予想に、現時点で変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,302,315	1,314,194
金銭の信託	600,054	600,067
受取手形及び売掛金	982,617	832,300
有価証券	139,805	146,236
商品及び製品	476,789	560,807
仕掛品	77,309	57,999
原材料及び貯蔵品	1,575	1,371
その他	71,394	82,001
貸倒引当金	△1,038	△1,031
流動資産合計	3,650,822	3,593,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	84,661	80,223
土地	980,229	1,018,213
その他(純額)	8,804	17,594
有形固定資産合計	1,073,696	1,116,031
無形固定資産		
投資その他の資産	33,159	30,649
投資有価証券	176,638	206,807
繰延税金資産	103,186	105,422
事業保険積立金	49,689	51,990
その他	18,277	18,844
投資その他の資産合計	347,793	383,065
固定資産合計	1,454,648	1,529,746
資産合計	5,105,471	5,123,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,857	426,496
未払法人税等	22,975	11,927
返品調整引当金	74,623	42,476
賞与引当金	44,035	14,397
その他	209,575	221,965
流動負債合計	808,066	717,262
固定負債		
退職給付に係る負債	347,072	370,170
その他	17,264	14,850
固定負債合計	364,337	385,020
負債合計	1,172,404	1,102,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	205,997	205,997
利益剰余金	3,614,184	3,681,184
自己株式	△299,711	△299,711
株主資本合計	3,903,743	3,970,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,322	50,666
その他の包括利益累計額合計	29,322	50,666
純資産合計	3,933,066	4,021,410
負債純資産合計	5,105,471	5,123,692

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,131,177	2,294,692
売上原価	1,523,661	1,526,613
売上総利益	607,516	768,078
返品調整引当金戻入額	41,306	32,147
差引売上総利益	648,822	800,225
販売費及び一般管理費	709,230	703,823
営業利益又は営業損失(△)	△60,408	96,402
営業外収益		
受取利息	554	541
受取配当金	9,094	7,964
投資有価証券評価損戻入益	-	10,238
為替差益	14	667
その他	1,205	549
営業外収益合計	10,870	19,960
営業外費用		
投資有価証券評価損	13,824	-
営業外費用合計	13,824	-
経常利益又は経常損失(△)	△63,362	116,362
特別利益		
固定資産売却益	49	-
特別利益合計	49	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△63,312	116,362
法人税、住民税及び事業税	10,907	26,687
法人税等調整額	△24,188	△7,169
法人税等合計	△13,281	19,518
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,031	96,844
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△50,066	96,844



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,031	96,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,843	21,343
その他の包括利益合計	△11,843	21,343
四半期包括利益	△61,874	118,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,909	118,188
非支配株主に係る四半期包括利益	35	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、当社及び子会社5社で構成され、主に企業経営全般及びその他分野に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。広告請負代理は当社の発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見て一体のものであるといえます。また、当社グループは、全セグメントに占める「出版事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。